

「修学旅行記③～ひめゆりの塔編～」

6月24日(月)～28日(金)4泊5日の本校沖縄修学旅行記の第三弾「ひめゆりの塔編」をお届けします。ひめゆりの塔には、沖縄戦で看護要員として動員され亡くなった「ひめゆり学徒隊」の慰霊碑があります。多くのひめゆり学徒隊が亡くなった伊原第三外科証言集や証言映像、壕の実物大型模型などが展示されています。修学旅行三日目、6月26日(水)ひめゆり平和祈念資料館と平和祈念公園を訪問した際、三年生の皆さんは多くのことを学びました。訪問の様子と感想文を掲載します。



「未来が今よりも平和であることを願って」

3年A組 柴中 柊志

7月26日、僕たちはひめゆりの塔へ見学に行きました。塔について最初に目に映ったのは、地下に伸びる大きな洞窟でした。それは自然にできた洞窟で、「ガマ」と呼ばれているようです。1945年、

6月26日(水)修学旅行三日目平和祈念公園にて3年C組の皆さん。平和祈念公園内には沖縄戦の写真や遺品などを展示した平和祈念資料館、沖縄戦で亡くなられたすべての人々の氏名を刻んだ「平和の礎」、戦没者の鎮魂と永遠の平和を祈る「平和祈念像」などがあり、国内外の観光客をはじめ修学旅行生等が多く訪れる聖地であり、観光の要所になっています。



アメリカ軍による黄燐手榴弾などの攻撃を受け、壕内にいたほとんどの方が亡くなったと聞きました。「捕虜になるくらいなら」と、自ら命を断つことが美徳だとされていたということも知り、言葉では言い表せない感情で胸がいっぱいになりました。

ひめゆりの塔に黙祷を捧げたあと、塔に隣接する資料館を見学しました。館内には当時の生々しい記録が多く残されていました。亡くなった方々の遺影、実物大の病院壕の模型、目に映るものすべてが衝撃でした。特に生き残った証言映像は想像を絶するもので、こんなことが現実起こったのだと考えるととても恐ろしく思いました。



僕が今、一人の人間として生きられていることがどれだけ恵まれていることか、改めて思い知らされる場所でした。これからの未来が今よりも平和であることを願っています。

【左】三日目朝9時石垣シーサイドホテル出発し、貸し切りバスにて石垣空港へ。11時10分空路、那覇空港へ。



「戦争について深く考えるきっかけになった修学旅行」

3年B組 Kさん



私は6月24日から4泊5日の修学旅行で、楽しいことや初めての体験ができ、多くの思い出を作ることが出来ました。その中でも特に記憶に残っているものが、ひめゆり平和祈念資料館へ行ったことです。今まで戦争については学校の授業やテレビのニュースなどでしか触れることがなかったけれど、実際に記念館で資料を見て戦争について詳しく知ることができました。今の平和な生活が当たり前ではないということを改めて実感させられました。



また、沖縄戦の中で多くの女学生も参加し犠牲になったということも知りました。私と同じ年齢の生徒たちは自分の夢がある中で、そのような思いで戦争に参加していたのか、もし自分が同じような状況だったらどうするのかなど、より深く戦争について考えるきっかけになりました。(次頁へ)

【上】12時15分那覇空港到着。貸切りバスにてサザンビーチホテルへ。昼食バイキングの様子

【右】14時30分ひめゆり平和祈念資料館到着。慰霊碑に手を合わせる。





ひめゆりの塔。奥に見えている慰霊碑（納骨堂）の前に口を空けているのが第三外科壕。その壕は深さ14mあり当時はハシゴで昇り降りしていたと聞く。



【上】ひめゆりの塔慰霊碑に手を合わせる三年生
【下】ひめゆり平和祈念資料館出口付近の千羽鶴



沖縄戦などで亡くなられたすべての人々の氏名を刻んだ記念碑「平和の礎」。太平洋戦争・沖縄戦終結50周年を記念して1995年6月に建設されたと聞く。

今回は時間が足りなかったのですが、また沖縄に行く機会があれば訪れたいと思います。

「命の尊さを改めて知った修学旅行」 3年C組 吉元 真仁

修学旅行で心にまず残ったことが沖縄の海がとても綺麗だったということです。修学旅行の一日目、飛行機での移動の際に窓から見えた沖縄の海は、福岡でよく見るような海とは違いとても鮮やかで透き通っていてすごく驚きました。さらに石垣島の海は、さらに美しく透明で絶景でした。

次にひめゆり平和祈念資料館でのことです。その中でひめゆり学徒隊の最後の地の一つである慰霊碑を最初に見ました。私の想像よりも大きくて驚きました。その後、資料館に入りましたが、空気が重く感じました。沖縄戦の様々な状況などが書かれていて、それを読んでとても心にくるものがありました。ひめゆり平和記念資料館で命の尊さを改めて考えることができました。

修学旅行では楽しかったことや学びになることがあったので、よい思い出になりました。

「学んだ戦争はいけないこと」 3年C組 加治 迪也

修学旅行では多くのことを学びました。その中で特に記憶に残ったのがひめゆり平和祈念資料館です。ひめゆり平和祈念資料館には、戦争を体験した学生たちの体験談や戦時中の絵、戦争を体験した子どもたちの話などが多くありました。

その中でも特に私の心に残っていることが戦争で怪我をした人を看護する仕事をしてきた学生の日記です。その日記には、軍の階級による対応の差が書かれていました。戦争中の病院にはお金や物資が全くなかったため、設備が不十分で、食は一日一個のピンポン玉のようなおにぎりが配られるだけだったそうです。人も不足しており、高校生が呼ばれ地獄のようだったと記されていました。

なのに軍の階級が高い人にはご飯の量も多く、ひめゆりの塔慰霊碑前でバスガイドさく、二人ほど人が付きっきりだったそうです。その話真剣に耳を傾ける三年生です。このようなことなどから私は、戦争がなぜいけないことなのかを学びました。



15時35分平和祈念公園到着。断崖絶壁から海岸線、波打ち際を眺望できる位置に設置された「平和の広場」を見学。広場の中央には「平和の火」が灯されていた。

